

科系の人には宇宙の仕組みと物質から生命への流れをパースペクティブに読み取ることができる。理科系の人には自らの見方で世界を理解しようと

する姿勢が伝わってくる。天文学を学ぶということの意味をもう一度省みる機会になるだろう。

佐藤修二 (名大理)

月報だより

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目にしたがってご投稿下さい。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員 (ポスト・人数など)
2. (1)所属部門・所属講座, (2)勤務地
3. 専門分野
4. 職務内容・担当科目
5. (1)着任時期, (2)任期
6. 応募資格
7. 提出書類
8. 応募締切・受付期間
9. (1)提出先, (2)問合せ先
10. 応募上の注意
11. その他 (待遇など)

宇宙科学研究所教員

この度、下記の要領により教官の公募を行いますので、広く適任者の推薦、応募を求めます。

1. 教授 1 名
2. (1) 宇宙圏研究系 高エネルギー天体物理学第二部門
3. 高エネルギー天体物理学
X線、ガンマ線等の高エネルギー放射線による天体の観測的研究及び飛翔体搭載機器の開発研究、科学衛星計画の立案、実行を指導的立場で行う。
大学共同利用機関としての責務を理解し、同研究系の各部門と協力して、その任務の遂行にあたる方を求めます。
5. (1) 決定後、平成6年度のなるべく早い時期
7. (1)略歴 (2)研究歴 (3)論文リスト及び主要論文別刷 (4)研究計画 (自薦の場合のみ) (5)他薦の場合：推薦書2通、自薦の場合：本人について意見を述べられる者2名の氏名、連絡先。
8. 平成6年4月1日(金)必着
9. (1)〒229 神奈川県相模原市由野台3-1-1
宇宙科学研究所管理部庶務課人事係
電話(代表) 0427(51)3911
(2)問い合わせ及び資料の請求は下記に願います。
宇宙圏研究系研究主幹 榎野文命 内線2621
10. 封筒の表に「教授応募(推薦)書類在中」と朱で明記して下さい。
11. 選考は、宇宙科学研究所運営協議委員会に於いて行います。応募者に適任者がいない場合は、決定を保留することがあります。

1. 助教授 1 名
2. (1) 共通基礎研究系 宇宙計測システム部門
3. 飛翔体を用いた赤外線観測のための計測技術の開発。

赤外線による天体観測や惑星探査に必要な赤外線計測技術の開発に意欲的に取り組み、且つ指導的役割を果たす方を募ります。

なお、当研究所では、現在気球による赤外線観測、共用宇宙プラットホーム(SFU)搭載の軌道赤外線望遠鏡(IRTS)による観測計画を進めており、また、近い将来赤外線天文衛星や惑星探査衛星の打ち上げなども計画しております。この様な諸計画の推進にも積極的に協力でき、また、大学共同利用機関としての本研究所の任務を十分理解し、幅広く関連分野の研究、その他共同利用計画の遂行に積極的な役割を果たす方を希望します。

5. (1) 決定後、なるべく早い着任を希望
7. (1)略歴 (2)研究歴 (3)論文リスト及び主要論文別刷 (4)研究計画書(自薦の場合のみ) (5)他薦の場合：推薦書2通、自薦の場合：本人について意見を述べられる者2名の氏名、連絡先。
8. 平成6年3月31日(木)必着
9. (1)〒229 神奈川県相模原市由野台3-1-1
宇宙科学研究所管理部庶務課人事係
電話(代表) 0427(51)3911
(2)問い合わせ及び資料の請求は下記に願います。
共通基礎研究系研究主幹 奥田治之 内線2601
10. 封筒の表に「助教授応募(推薦)書類在中」と朱で明記して下さい。
11. 選考は、宇宙科学研究所運営協議委員会に於いて行います。応募者に適任者がいない場合は、決定を保留することがあります。

会務案内

PASJ 投稿規定の一部改訂

1. 引用文献の書き方について(変更点のみ)

○本文中での文献の引用：2人のときは姓の間を(,)で区切る：(Yamada, Suzuki 1993)。文章中ではYamada and Suzuki 1993とする。

○文献表の書き方：姓 名前のイニシアル 年号 雑誌

名 シリーズ番号, 巻数, 開始ページの順にローマン字
体で書く(ボールド, イタリックは使わない).

8人をこえるときは8人までの姓 名のイニシャルを
書いて以下は et al.とする. 未発表文献をやむを得ず引用
した場合は年号, 雑誌名 in press または submitted to と
書く. ed, p (page), 行末などにピリオドはつけない.

○雑誌名の省略: IAU の規約に従うが主要なものは次
のように略す.

A & A	Astron. Astrophys.
A & AS	Astron. Astrophys. Suppl.
AJ	Astron. J.
ApJ	Astrophys. J.
ApJL	Astrophys. J. Letters
Ap & SS	Astrophys. Space Sci.
MNRAS	Monthly Notices Roy. Astron. Soc.
PASJ	Publ. Astron. Soc. Japan
PASP	Publ. Astron. Soc. Pacific
SvA	Soviet Astron.

○文献表の例

Cheng L. X., Li T. P. et al. 1993, A & A 277,L13

de Jager C. 1979, Sol Phys 64,135

Nakajima J., Otake E., Nishibori K., Kobayashi H.,
Tanaka N., Saitoh T., Watanabe N., Aramaki Y. et
al 1993, PASJ 45,477

Novikov I. D., Thorne K. S. 1973, in Black Holes ed C.
De Witt, B. S. DeWitt (Gordon and Breach, New
York) p344

Sato K., Shimizu H. M. et al. 1993, in Proc Int Symp on
Neutrino Astrophysics, Frontiers of Neutrino Astro-
physics ed S. Kubono (Universal Academy Press,
Tokyo) in press

van Driel W., Wakamatsu K. 1993, IAU Circ No. 5737

2. E-mail address について: e-mail address は一
論文に一つとする. 著者の所属, アドレスの次に E-mail
(NO) oda@pluto.mtk.nao.ac.jp のように書く. () 内
は著者(複数の場合は連絡責任者, 第一著者とは限らな
い)の名と姓のイニシャル(例: Nobunaga Oda).

3. その他: 提出原稿はすべて A4 用紙にダブルスペ
ースで打つ. LaTeX の PASJ 用マクロを使う場合もダブ
ルスペース, 一段組でプリントアウトした原稿を添える.

(PASJ 編集部)

日本天文学会早川幸男基金募集要項

日本天文学会 早川幸男基金(若手海外学術研究援助
基金)内規に基づき*, 海外学術研究に対する援助者の募
集(1994年度1期分)を以下の要領で行ないます.

1. 援助金総額 年間約 100 万円
2. 援助件数 年間数件程度
3. 募集対象期間 1994年4月1日~6月30日の間
に日本を出発するもの. また前回の応募時に間に合わ
ずすでに渡航してしまっただけの場合はその事情説明をつ
けて応募して下さい.
4. 応募必要書類(A4紙に統一すること)
 - (1) 応募用カバーシート(本誌の応募用紙を A4 に拡
大コピーして使用する)
 - (2) 論文リストおよび関連研究論文の写し(一編)
 - (3) 観測については, 観測割当通知および観測提案の
写しかそれに準ずるもの
 - (4) 国際共同研究については, 渡航先の招聘状および
研究計画の概要
 - (5) 研究会参加については, 当該研究会開催の主旨
を説明する資料, プログラム, および応募者の寄与
(口頭発表等)を証明するもの
 - (6) 大学院生の場合, 研究指導者の意見書
 - (7) 航空運賃の見積書
5. 募集締切 1994年3月20日
6. 決定時期 1994年3月下旬
7. 応募書類送付先

〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台内

日本天文学会 早川基金募集係

*早川基金内規(天文月報第85巻第12号参照)による援
助対象資格は「日本天文学会会員で, 原則として 35 歳
以下の天文学研究者であって, この基金以外の海外渡
航費(滞在費を除く)の援助を受けない者。」です.

1994年度は 6, 9, 12, 3 月の 10 日締め切りで募集を
行う予定です. 応募希望者は書類等の準備をしてくださ
い.

1993年度3期は5名の応募があり, 佐藤康則, 村山
卓, 山田 享の3氏に援助を決定しました. 援助者には
帰国後報告書の提出をお願いします. また今年度は会津
晃, 佐藤明達, (株)ニュートリノの各氏・会社から合計 315
万円のご寄付を頂きました. ここに御礼申し上げます.
さらに引き続き寄付のご協力をお願い致します.

寄付振込先: 住友信託銀行 吉祥寺支店

社団法人日本天文学会

普通口座 5206016

早川基金応募カバーシート

(本頁を A 4 に拡大コピー・記入して、応募用紙の最初に添付して下さい)

氏 名	(会員番号：)		生年月日	19 年 月 日(歳)
所 属		身 分	大学院(修士・博士)課程 年生	
援助希望 の 内 容	(観測・国際共同研究・国際研究集会) その他 []		研究生・学振 (PD・DC)	
渡航期日	年 月 日～ 年 月 日		(常勤・非常勤)職員 [職名：] その他 []	
渡航期間：	渡航場所	渡航費見積金額： 円		
研究略歴				
渡航歴および旅費の出所：				
渡航の主旨：				
国際研究集会についての寄与： 1. 口頭発表, 2. ポスター, 3. その他 []				

共同利用・共同研究

平成6年後期(7~12月)国立天文台 岡山天体物理観測所の共同利用観測の公募

以下のとおり公募いたします。詳細は、下記提出先または観測所へお問い合わせ下さい。

1. 共同利用機器：188 cm 望遠鏡, 91 cm 望遠鏡, 65 cm 太陽望遠鏡
2. 利用期間：平成6年7月~12月
3. 申込資格：国・公・私立大学および国・公立研究所等の研究者、又はこれに準ずる者（大学院博士課程在

学者を含む。）

4. 申込方法：規定の観測申込書により2部提出
5. 申込締切：平成6年4月15日(金)必着
6. 提出先：〒719-02 岡山県浅口郡鴨方町本庄
岡山天体物理観測所共同利用係
電話 08654-4-2155
封筒に「岡山観測申込書在中」と朱書のこと
7. 機器一般の問合せ：
〒719-02 岡山県浅口郡鴨方町大字本庄3037-5
国立天文台岡山天体物理観測所 前原英夫
電話 08654-4-2155 ファックス 08654-4-2360

星空市場

“意見”

早川幸男基金のこと

自然科学は本質的に国際的な学問であるが、研究対象が地球外にある天文学は特に国際性が強い。研究分野は他の学問分野とも密接に関わって多岐に亘り、専門分野の研究者は世界的に見ても数が少ない。日本国内では尚更である。それで日本の研究者は外国の研究者と手紙やファックス、電話やプレプリントで情報を交換しあう。しかし何といっても直接面会して討論するのが一番である。その意味で1992年に早川幸男氏が若手海外学術研究援助基金(早川幸男基金)を提供されたのはまことに時宜を得た措置であった。

私は大学で天文学を学んだにも拘わらず、非才のためついに専門の天文学者になれずに終わった。しかし天文学が私の人間形成に果たした役割は測り知れない。天文学のおかげで今の私が在ると言ってもよいくらいである。この恩に報いるため、かつ私の為し得なかった天文学への貢献を前途有望な若手研究者に果たしてもらうため、手持ちの少額金をこの基金に加えさせていただくことにした。この基金によって渡航した若手研究者が海外でのびのびと観測に従事し、研究仲間と盛んに討論しているさまを思い浮かべると、私はほのほのとした満足感に浸されるのである。 佐藤明達(東京都)

“意見”

天文月報1993年11月号 天体列伝(2) アンドロメダ

大星雲M31の記事中我々の銀河系を「M0」と命名してはどうかという家 正則氏のご提案は、今迄誰も気付かなかったすばらしい着想と思います。数ある銀河の内、めばしいものに皆Mナンバーがついているのに我々にとって最も重要な私達の銀河に科学的公式名称がないという事は考えてみれば随分片手落ちな事でした。「私達の銀河」「我々の銀河系」等長い呼び名で他の銀河に比べて別格扱いするのも結構な事とは思いますが「M0」と記号化する事が出来れば単に表記を簡略化出来るだけでなく他の銀河と比較する為の表、グラフ等に非常に便利に使えるし数式の中に取り入れる事も可能になり我が「M0」の数量的研究上極めて有効と思われます。我が銀河系は我々自身が住む銀河であるが故に他のすべての銀河に君臨するゼロ・ナンバーをつけるのにふさわしい銀河であります。これは是非実現したい素晴らしいご提案であると思います。 杵鞭充千男(神奈川県)

編集部より

4月号より天文月報の紙面体裁を若干変更し、以下のように致します。このほか細かい改善は随時行っていくと考えておりますので、ご意見ご感想・ご要望などございましたら編集部までお寄せください。

- 1) **SKYLIGHT, EUREKA, 天球儀**に英文概要を追加します。
- 2) 参考文献表の書式を専門論文誌で広く使われている形態に変更します。
- 3) 経費節減のため、目次と雑報・月報だよりなどのページを1色化します。

編集委員 谷川清隆(編集長), 坂尾太郎, 田代 信, 中川貴雄, 中村 士, 濱部 勝, 林 左絵子, 半田利弘
平成6年2月20日 発行人 〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1国立天文台内 社団法人 日本天文学会
印刷発行 印刷所 〒162 東京都新宿区早稲田鶴巻町565-12 啓文堂 松本印刷
定価700円(本体680円) 発行所 〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1国立天文台内 社団法人 日本天文学会
電話 (0422)31-1359 (FAX自動切換) 振替口座 東京 6-13595